

記入例

生活困窮者住居確保給付金支給申請書

フリガナ	コウベ タロウ			
①氏名	神戸 太郎			
②生年月日	昭和・平成・令和 47年5月15日 満(47)歳			
③電話番号	080-1111-2222			
④次の(1)又は(2)の場合であること(いずれか該当する数字を○で囲んだうえ、該当する方に記載)				
(1) 離職等の場合				
離職等の時期	令和2年3月12日			
離職等した事業所	株式会社三ノ宮工業			
(2) 第3条第2号に規定する場合				
給与その他の業務上の収入を得る機会の減少の状況	インストラクターとして勤務していた三ノ宮スポーツジムが一部休業となり、従来は週4~5日活動していたが、週2~3日程度以下の勤務となった。			
⑤離職等前に世帯の生計を主として維持していたこと又は申請月において維持していること				
離職等前の雇用状況等、世帯の生計の維持にかかる状況	昭和60年4月から正社員として株式会社三ノ宮工業に勤務し、離職するまで世帯主として生計を維持していた。			
⑥次の(1)又は(2)のいずれかに該当していること(いずれか該当する数字を○で囲んだうえ、該当する方に記載)				
(1) 住居を喪失していること				
住居を喪失した時期	令和2年2月2日			
喪失した住居の住所	兵庫県神戸市中央区加納町○○			
現在の状況	友人宅に居候をしている。			
(2) 住居を喪失するおそれがあること				
現在の住所	兵庫県神戸市中央区加納町○-○-○○			
住居の家主等	三ノ宮不動産			
喪失するおそれのある住居の家賃額	50,000円			
現在の収入状況等、住居喪失のおそれがある理由、状況等	現在失業中で収入がなく、貯えで生活している。			
⑦申請者及び申請者と同一の世帯に属する者の収入及び預貯金が次のとおりであること				
フリガナ	コウベ タロウ	コウベ ハナコ		
氏名	神戸 太郎	神戸 花子		
続柄	本人	妻		合計
生年月日	昭和47年5月15日	昭和49年1月4日		
収入(月額)	20,000円	0円	円	円 20,000円
預貯金等	50,000円	0円	円	円 50,000円

申立事項

上記の申立事項に相違なく、生活困窮者自立支援法施行規則(以下「則」という。)第13条の規定により、必要書類を添えて生活困窮者住居確保給付金(以下「住居確保給付金」という。)の支給を申請します。

私の個人情報、住居確保給付金の支給並びに臨時特例つなぎ資金及び総合支援資金の融資を行うために必要となる範囲で、則第4条第1項第2号に規定する神戸市福祉局くらし支援課、区保健福祉部生活支援課(北神管内の場合は北神区役所保健福祉課、北須磨管内の場合は北須磨支所生活支援課)、神戸市内を所管する公共職業安定所、職業安定法(昭和22年法律第141号)第4条第9項に規定する特定地方公共団体、同条第10項に規定する職業紹介事業者であって地方公共団体の委託を受けて無料の職業紹介を行う者、兵庫県社会福祉協議会、神戸市社会福祉協議会の間で相互利用されることについて同意します。

また、裏面の注意事項について、同意します。  
令和2年4月20日  
神戸市中央区福祉事務所長 様  
申請者氏名 神戸 太郎

記入留意点

生活困窮者住居確保給付金支給申請書

フリガナ	コウベ タロウ			
①氏名	神戸 太郎			
②生年月日	○日 満(○○)歳			
③電話番号	○○○			
④次の(1)又は(2)の場合であること(いずれか該当する方に記載)				
(1) 離職等の場合				
離職等の時期	令和○○年○○月○○日			
離職等した事業所	株式会社○○○			
(2) 第3条第2号に規定する場合				
給与その他の業務上の収入を得る機会の減少の状況	インストラクターとして勤務していたスポーツジムが一部休業となり、従来は週4~5日活動していたが、週2~3日程度以下の勤務となった。			
⑤離職等前に世帯の生計を主として維持していたこと又は申請月において維持していること				
離職等前の雇用状況等、世帯の生計の維持にかかる状況	○○年○○月から正社員として株式会社○○○○に勤務し、離職するまで世帯主として生計を維持していた。			
⑥次の(1)又は(2)のいずれかに該当していること				
(1) 住居を喪失していること				
住居を喪失した時期	令和○○年○○月○○日			
喪失した住居の住所	兵庫県神戸市○○区○○町○○			
現在の状況	友人宅に居候をしている。			
(2) 住居を喪失するおそれがあること				
現在の住所	兵庫県神戸市○○区○○-○○-○○			
住居の家主等	○○不動産			
喪失するおそれのある住居の家賃額	○○,○○○円			
現在の収入状況等、住居喪失のおそれがある理由、状況等	現在失業中で収入がなく、貯えで生活している。			
⑦申請者及び申請者と同一の世帯に属する者の収入及び預貯金が次のとおりであること				
フリガナ	コウベ タロウ	コウベ ハナコ		
氏名	神戸 太郎	神戸 花子		
続柄	本人	妻		合計
生年月日	昭和○○年○○月○○日	昭和○○年○○月○○日		
収入(月額)	○○○円	○○○円	円	円 ○○○円
預貯金等			円	円 ○○○円

申立事項

上記の申立事項に相違なく、生活困窮者自立支援法施行規則(以下「則」という。)第13条の規定により、必要書類を添えて生活困窮者住居確保給付金(以下「住居確保給付金」という。)の支給を申請します。

私の個人情報、住居確保給付金の支給並びに臨時特例つなぎ資金及び総合支援資金の融資を行うために必要となる範囲で、則第4条第1項第2号に規定する神戸市福祉局くらし支援課、区保健福祉部生活支援課(北神管内の場合は北神区役所保健福祉課、北須磨管内の場合は北須磨支所生活支援課)、神戸市内を所管する公共職業安定所、職業安定法(昭和22年法律第141号)第4条第9項に規定する特定地方公共団体、同条第10項に規定する職業紹介事業者であつて地方公共団体の委託を受けて無料の職業紹介を行う者、兵庫県社会福祉協議会、神戸市社会福祉協議会の間で相互利用されることについて同意します。

また、裏面の注意事項について、同意します。  
令和○○年○○月○○日  
神戸市○○区福祉事務所長 様  
申請者氏名 神戸 太郎

⑤「(1)離職等の場合」「(2)第3条第2号に規定する場合(休業等により離職等と同程度の状況にある場合)」のいずれかについて、詳細に記入してください。

給与等の収入が減収している状況・理由について、詳細に記入してください。

離職等もしくは休業等により、収入が減少する前に、どのような雇用状況で生計を維持していたか、詳細に記入してください。

⑦「(1)住居を喪失している」「(2)住居を喪失する恐れがある」のいずれかの状況について、詳細にご記載ください。

ご家族(世帯を同一にしている者)が5名以上になる場合は、記入前に用紙をコピーし、2枚目に6人目以降の家族を記入してください。

収入に変動がある場合は、収入の確定している直近3か月間の平均収入を記載し

預貯金と現金の合計額を記載してください。

同意事項について、ご一読いただいた上で、「記名」してください。